［金融商品関係］

1．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については安全性の高い金融資産（主に公債）に限定し、政府、地方公共団体及び金融機関からの借入及び空港周辺整備債券の発行により資金を調達しております。

未収債権等に係る顧客の信用リスクは、債権管理規定等に沿ってリスク低減を図っております。また、有価証券は、独立行政法人通則法第47条の規程等に基づき、公債のみを保有しており株式等は保有しておりません。

借入金等の使途は運転資金および事業投資資金であり、主務大臣により認可された資金計画に従って、資金調達を行っております。

2．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：円）

	貸借対照表計上額（＊）	時　価（＊）	差　　額
⑴　現金及び預金	1,951,023,046	1,951,023,046	—
⑵　有価証券	1,398,335,815	1,398,348,000	12,185
⑶　未払金	(526,671,249)	(526,671,249)	—
⑷　空港周辺整備債券	(121,600,000)	(128,765,048)	△　7,165,048
⑸　一年内返済予定借入金及び長期借入金	(2,270,118,586)	(2,200,394,776)	69,723,810
⑹　預り敷金・保証金	(1,336,035,144)	(1,181,490,308)	154,544,836

（＊）負債に計上されているものについては、(　) で示しています。

（注１）　金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項

⑴　現金及び預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑵　有価証券

取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

また、これらは満期保有目的の債券として保有しており、債券の種類ごとの貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は、次のとおりであります。

なお、当事業年度中に売却した満期保有目的の債券はありません。

（単位：円）

	種　類	貸借対照表計上額	時　　価	差　　額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債・地方債	699,080,738	699,160,000	79,262
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債・地方債	699,255,077	699,188,000	△　67,077
合　　計		1,398,335,815	1,398,348,000	12,185

⑶　未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑷　空港周辺整備債券、並びに⑸　一年内返済予定借入金及び長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入及び債券発行を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

⑹　預り敷金・保証金

将来キャッシュ・フローを現在価値に割り引いて算定する方法によっております。

（注２）　金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：円）

	１　年　以　内	１年超５年以内
現金及び預金	1,951,023,046	—
有価証券及び投資有価証券		
満期保有目的の債券	1,400,000,000	—
合　　計	3,351,023,046	—

（注３）　空港周辺整備債券、一年内返済予定借入金及び長期借入金の決算日後の返済予定額については、附属明細書「空港周辺整備債券の明細」及び「長期借入金の明細」を参照ください。

［賃貸等不動産関係］

当法人は、空港周辺整備計画に基づく再開発整備事業を実施するため、大阪国際空港及び福岡空港の周辺に騒音斉合施設等を有しております。これらの賃貸等不動産の貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は次のとおりであります。

（単位：円）

貸　借　対　照　表　計　上　額			当期末の時価
前期末残高	当期増減額	当期末残高	
4,252,831,253	△　206,737,421	4,046,093,832	4,227,653,924

（注１）　貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額であります。

（注２）　当期増減額のうち、主な増減額は次のとおりであります。
減価償却による減少　209,151,687円

（注３）　当期末の時価は、主として国土交通省の建設工事費デフレーターの変動率に基づいて当法人で算定した金額であります。

また、賃貸等不動産に関する平成23年３月期における収益及び費用等の状況は次のとおりであります。

（単位：円）

賃　貸　収　益	賃　貸　費　用	そ　の　他　損　益
1,176,228,991	730,290,703	△ 27,231,925（△　790,409）

㈱　その他損益のうち、括弧書き内数は損益外減損損失相当額であります。また、その他損益には、財務損益及び臨時損益を含んでおります。

［重要な後発事象］

平成23年５月25日、「関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律（平成23年法律第54号）」が公布されました。これに伴い、当法人は、大阪国際空港事業本部が実施している大阪国際空港に係る空港周辺環境対策に関する業務並びに権利及び義務を新関西国際空港株式会社（以下「新会社」という。）へ承継するとともに、本社を福岡空港事業本部に移転することとされています。

なお、新会社への承継時期は公布の日から１年６月以内の政令で定める日としています。